

令和6(2024)年度日本歴史研究コース授業計画

授業名	近世社会論			
担当教員	工藤 航平			
授業概要	従来の近世地域社会史を民衆文化の視点から再検討する。特に、地域社会論について研究史をふりかえり、その到達点と課題を民衆文化の視点から見直しつつ、さまざまな史料の読み解きを踏まえて、地域社会の特質を考察する。(講義および演習)			
教育目標・目的	①地域社会に生きる多様な人びとの存在とそれぞれの価値観を理解する。 ②地域社会における民衆文化の意義・機能を理解する。 ③史料の性質を踏まえた読解力を身につける。			
成績評価	授業への参加状況(50%)、発表および討論等の内容(50%)			
授業計画	1. 歴史学と地域社会史	9. 民衆文化史 2		
	2. 史料論 1 (記録資料)	10. 民衆文化史 3		
	3. 史料論 2 (書籍資料)	11. 地域社会史研究法の検討 1		
	4. 史料論 3 (モノ資料)	12. 地域社会史研究法の検討 2		
	5. 地域社会史 1	13. 地域社会史と歴史展示 1		
	6. 地域社会史 2	14. 地域社会史と歴史展示 2		
	7. 地域社会史 3	15. 研究発表		
	8. 民衆文化史 1			
実施場所	国立歴史民俗博物館内の指定する部屋及び展示室	使用言語	日本語	
前期・後期の別	前期・ 後期 ・通年	対象年次	3, 4, 5	単位数 2単位
教科書・参考図書	教科書：特になし 参考図書：工藤航平『近世蔵書文化論—地域〈知〉の形成と社会』(勉誠出版、2017年) 若尾政希『百姓一揆』(岩波文庫、2018年)			
備考				